

The background is a solid light gray color. It is decorated with several white, thin, continuous lines that form various shapes, including large and small circles, loops, and wavy, organic forms. These lines are scattered across the page, creating a modern, minimalist aesthetic.

養護教諭養成教育検討委員会

「養護教諭養成教育検討委員会」

1. 構成員

1) 委員

委員長：荒木田美香子（国際医療福祉大学）

委員：池添志乃（高知県立大学）、亀崎路子（杏林大学）、三森寧子（聖路加国際大学）、櫻田淳（埼玉県立大学）

2) 協力者： なし

2. 趣旨

養護教諭第一種養成課程を有する大学 130 大学のうち、看護系大学が 82 校（平成 27 年現在）となっている。また、平成 28 年度中に教員養成カリキュラムの改変、平成 30 年度の各大学のカリキュラム改変、平成 31 年度から新課程が行われることとなっている。平成 26・27 年度に引き続き、臨時委員会として、看護能力を基盤とした養護教諭の養成カリキュラムの検討、養成教育の質の保証、改正カリキュラムに関する情報提供、養護教諭の養成大学のネットワークの構築を行う。

3. 活動経過

- 1) 4 回の委員会（6 月 19 日、7 月 28 日、9 月 22 日、10 月 29 日）を開催し、以下の事項を検討した。
- 2) 平成 29 年 8 月 15 日～31 日までの期間で、JANPU の養護教諭養成大学 82 校を対象にコアコンピテンシーと学修内容の委員会原案を提示し、Web 調査を行った。47 大学から回答を得た。
- 3) 平成 29 年 9 月 5 日に JANPU の養護教諭養成大学 82 校を対象にワークショップを行った。参加者数 73 名であった。ワークショップでは本委員会で検討中のコアカリキュラムを提案し、グループワークから出た意見をもとに見直しを行った。
- 4) 11 月に「看護学士課程で養成する養護教諭のコアコンピテンシーと卒業時到達目標」を取りまとめ、会員校へ配信した。
- 5) 「看護学士課程で養成する養護教諭のコアコンピテンシーと卒業時到達目標」を印刷し、会員校および関係省庁に配布した。
- 6) 養護教諭関係団体連絡会^{*注1}に参加し、文部科学省（健康教育・食育課及び教職員課）との養護教諭養成カリキュラムの見直しに関する検討を行った。

注1：平成 27 年度の中央教育審議会答申による養護教諭養成カリキュラムの変更を見据え、「養護教諭の資質能力向上を願う全国組織団体の連携と協力により、養護教諭の養成・採用・研修等に関する施策の提案と実現に向けた取り組みを行うこと」を目的とする団体である。全国養護教諭連絡協議会、日本養護教諭養成大学協議会、日本教育大学協会全国養護部門、全国私立大学・短期大学(部)養護教諭養成課程研究会、日本養護教諭教育学会、日本健康相談活動学会を発起団体とし平成 27 年 11 月に発足した。

4. 資料

- ・看護学士課程で養成する養護教諭のコアコンピテンシーと卒業時到達目標

<http://www.janpu.or.jp/wp/wp-content/uploads/2018/04/H29YougoKyoyuCoreCompetence.pdf>